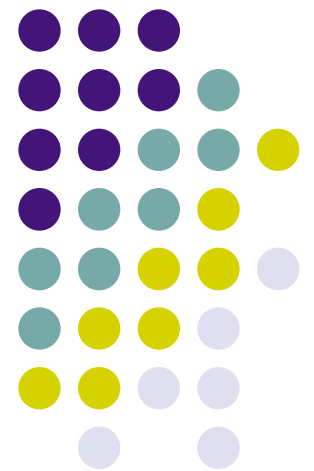
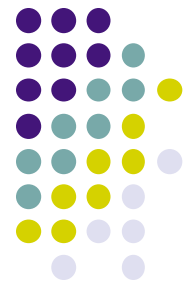


言語・文化・人間発達 1

サンフランシスコ州立大学／国立国語研究所
南 雅彦



言語と文化



- 社会言語学への導入
- 認知言語学
- 文化と自己
- ポライトネス
- 言語変化
- 言語と性差
- 言語発達

言語と文化



- 社会
- 認知
- 文化
- ポラ
- 言語
- 言語
- 言語発達

普遍性 **vs.** 文化固有性
エティック **vs.** エミク
ステレオタイプ

Sapir-Whorf hypothesis
バイリンガル

自立している自己
vs.
相互依存的な自己

自文化化 enculturation
社会化 socialization

エンコーディング
vs.
ディコーディング
encoding **vs.** decoding

言語と文化

普遍性 vs. 文化固有性
エティック vs. エミック
ステレオタイプ

- 言語と文化
- 文化の理解と定義



エティック(etic)

外部の人間にもわかる方法で行動を研究する

エミック(emic)

内部の人間にしかわからない方法で行動を研究する

言語と文化

普遍性 vs. 文化固有性
エティック vs. エミック
ステレオタイプ

- 言語と文化
- 文化の理解と定義



エティック(etic)

Phonetic
distinction

外部の人間にもわかる方法で行動を研究する

エミック(emic)

Phonemic
distinction

内部の人間にしかわからない方法で行動を研究する

言語と文化

普遍性 vs. 文化固有性
エティック vs. エミク
ステレオタイプ

文化の定義

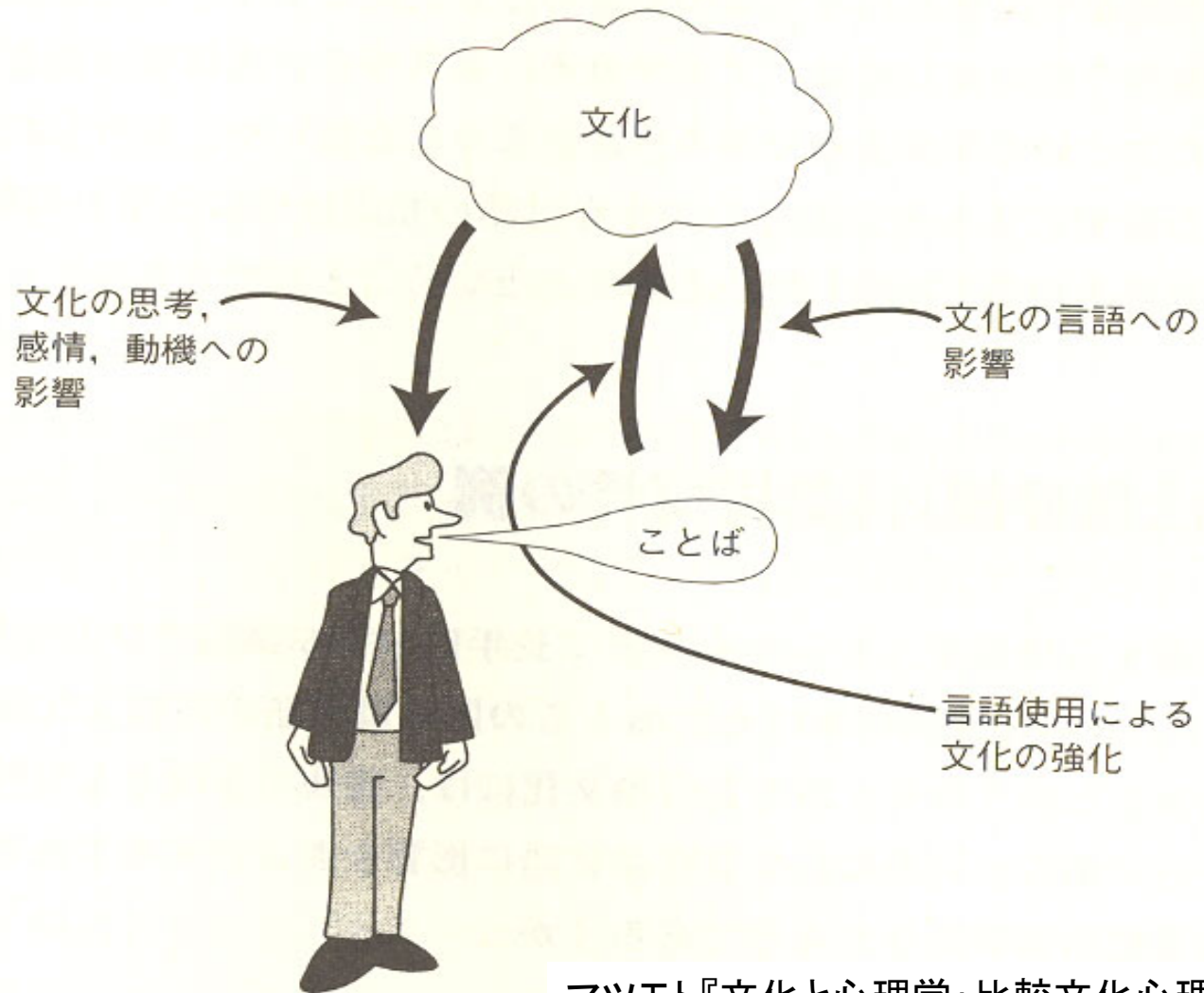
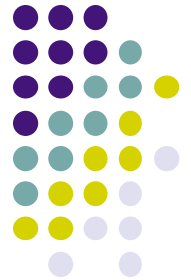
- ダイナミック(活動的な)システムであり、明確なものや暗黙のうちに了解されているもの。
- 各集団が自らの生存のために作り上げてきたシステムで、態度・価値観・信条・規範・行動などに関連している。
- 集団内で共有されてはいるが、同じ集団内でもその中に存在する各単位(集団をさらに分割した下位群)ごとに異なった解釈がされている場合もある。
- 次世代へと伝えられていき、比較的变化しにくいものではあるが、時代と共に変化する可能性もある。

言語と文化

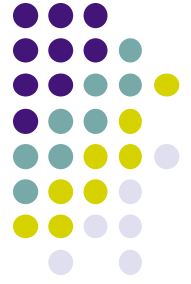
文化の理解と定義

ステレオタイプ(固定的概念)はある集団内にいる個々の存在を無視し、その文化を一般論化するものである。ステレオタイプに何らかの真実が存在するかもしれないが、その文化にいるメンバー全員が同じ文化的価値観や規範を心に抱いているわけではない。

言語と文化



マツモト『文化と心理学: 比較文化心理学入門』より



言語と文化

- Berlin & Kay(1969)

- あらゆる言語には白と黒を表す用語がある。
- 言語に3つの色彩に関する用語があれば、それらは(白と黒と)赤を表す用語である。
- 言語に4つの色彩に関する用語があれば、それらは(白と黒と赤と)緑色か黄色のいずれかを表す用語である。
- 言語に5つの色彩に関する用語があれば、それらは(白と黒と赤と)緑色と黄色の両方を表す用語である。
- 言語に6つの色彩に関する用語があれば、それらは(白と黒と赤と緑色と黄色と)青色を表す用語である。
- 言語に7つの色彩に関する用語があれば、それらは(白と黒と赤と緑色と黄色と青色と)茶色を表す用語である。
- 言語に8つ、もしくはそれ以上の色彩に関する用語があれば、それらは(白と黒と赤と緑色と黄色と青色と茶色と)紫、桃色、橙、灰色のいずれか、またはこれらの混合色を表す用語である

言語と文化

- ・ 認知普遍性(色彩)

白

黒

赤

緑

黄色

青

茶

紫

桃色

オレンジ

灰色

- ・ いかなる言語においても、限られた数の基本色を表す用語がある (Berlin & Kay, 1969)。
- ・ 言語における根本的相違にもかかわらず、異なる文化に属する人々も同じように色を知覚する。
→ 普遍性

